

みんなで考えよう 人権教室を開催

人権教室が6月23日、緑海小学校で3年生を対象に開催されました。

人権教室は、子どもたちが楽しい学校生活を送るため、他人に対する思いやりや優しさの大切さといった、人権尊重思想の基本的な考え方を理解してもらうために行われています。

人権擁護委員の小山和典氏は、いじめ問題のビデオを見せ、いじめについて子どもたちに考えさせながら人権の授業を進めていきました。

その中で、「いじめは、いじめをする人も、見てみぬふりをする人もいじめなんだよ」「人の権利を奪い取ってはいけないよ」「思いやりをもとう」など、子どもたちにわかりやすく人権のお話しをしていました。



人権擁護委員小山氏の話を真剣に聞く緑海小3年生



防犯劇を熱演する演劇集団『ぶどう座』と山武警察署員

警察署員と一緒に防犯劇を披露 高齢者交通安全の集い

7月6日、「高齢者交通安全の集い」がのぎくプラザと、さんぶの森文化ホールを会場に開催されました。

これは、山武市ゴールドクラブ連合会主催によるもので、高齢者の交通事故や詐欺被害が多発していることを受けて行われたものです。

市内で演劇活動をしている演劇集団「ぶどう座」と山武警察署員の共演による『振り込めサギ』の防犯劇が行われました。防犯劇をとおして高齢者の事故等が少しでも少なくなるよう注意を呼びかけました。

また、機会があればこのような防犯劇などを上演したいと「ぶどう座」の代表藤田さんは話していました。

住んでいるまちをお花でいっぱい 心をこめて育てた花を寄贈

7月5日、大富小学校3・4年生が育てた百日草、サルビア、ホウセンカなどの花を市内公共施設12箇所に贈りました。

これは総合的な学習の時間を活用して、自分たちの手で草花を育てることで植物の様子を勉強し、地域の方との交流や栽培をとおして思いやりの心を育てることを目的に行われたものです。

「私たちの住んでいるまちを、お花でいっぱいにするため、心をこめて育てました。この花でたくさんの人が笑顔になってくれたらうれしいです。」と代表の児童が元気にあいさつをしました。



成東文化会館に花を届け、あいさつをする児童